



7年生美術科×2年生国語科 交流授業

1月18日(水)東西の学舎を繋ぐ2年生と7年生の交流授業がありました。題材名は「文字で楽しく伝える～2年生が楽しく学べる絵文字をつくろう～」です。具体的には、7年生が漢字一文字を絵文字にし、それを2年生にクイズ形式で答えてもらうという授業です。7年生は対象が2年生なので、難しくなりすぎないように、わかりやすいように形や色を工夫し、相手のことを考えて漢字クイズを作成していました。そして当日、2年生は7年生のクイズに興味津々です。7年生は少し緊張しながらも2年生の素直な反応に喜び、お兄さんお姉さんという自信のようなものが感じられました。以下が7年生、2年生の感想です。

< 7年生 >

- 私たちの作った漢字を一生懸命考えててくれてありがとうございます。「どうしてそう思ったの?」と聞くと、とても詳しく答えてくれたのがうれしかったです。
- 交流会を楽しんでもらえてとてもうれしいです。私たちが作ったクイズを一生懸命解こうと頑張っている姿を見て、私も頑張って良かったなと思いました。
また、交流したいな、と思いました。
- 交流のとき、笑顔で漢字を学ぼうとしてくれて、話を真剣に聞こうしてくれてありがとうございます。初対面の人が多かったので緊張したけど、大きな声で答えてくれたときは私も頑張ろうと思えました。ありがとうございます。すごく楽しかったです。

< 2年生 >

- 漢字クイズをしてくれてありがとうございます。
わたしが7年生になったら、次はわたしが頑張ります。
- 7年生はとってもやさしいし絵も上手で「こうやるんだよ。」と言ってくれて、とてもうれしかったです。
- 7年生のみなさん、今日は最高の1日でした。
絵や字がとても上手で、やさしかったです。
また遊びに来てね。



コロナ禍の中で途絶えていた、東西の学舎を繋ぐピアサポートの取組が再開できました。「下級生の上級生への憧れ(将来のモデル像)」「下級生から憧れられる上級生の自己有用感の向上」これは、義務教育学校だからこそできるピアサポートの効果です。また、児童生徒の繋がりだけでなく、東西の学舎の教職員の繋がりの効果もあります。今回の交流授業の児童生徒の感想から、義務教育学校である東山泉小中学校の強みを再確認できました。今後、様々な学年でピアサポートの取組を続けていきたいと思います。

8年生「生き方探究・チャレンジ体験」



8年生が3年ぶりにチャレンジ体験に参加しました。コロナの関係で事業所の受入がままならない中、地域の事業所の方々に快く了承していただきました。8年生の児童生徒会長にインタビューし、感想を聞かせてもらいました。

「事業所は三洋化成さんでした。6年のときに出前授業で来ていただいたので、研究を主にされている会社だと思っていたが、実際は工場で多くの製品を生産している会社でした。職場体験をして気づいたことは、「働く」ということは人のためになることをするということ。誰かの要望を考え、そのニーズに応えるということだと思います。学校では味わえない貴重な体験ができました。そして楽しかったです。」

4日間の体験を終え、どの8年生もたくましく成長できたと思います。この体験から「働くこと」「将来の仕事」を考える機会にして欲しいと思います。